

尾張旭市第六次総合計画におけるまちづくりの進捗状況 報告書（令和6年度実績）

1. はじめに

- 第六次総合計画では、計画期間10年間のまちづくりを進めるに当たり、めざすまちの未来像を「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」とし、その実現に向けて、『「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます』、『「自分らしく」を応援します』、『「子育てしやすいまち」の魅力を高めます』、『「人とのつながり」を大切にします』の4つのまちづくりの基本方針と8つの分野の基本目標・29の施策を定めています。
- そして、まちづくりの基本方針ごとに重点的に実施する「主な取組」を抽出し、パッケージ化した「重点パッケージ」により、関連する取組を分野横断的に連携し、総合的に進めることで、成果の向上を図っています。
- この報告書は、「重点パッケージ」及び「基本目標」ごとの指標や取組状況を把握し、その評価を行うことにより、計画的なまちづくりの推進や効率的な行政運営につなげていくものです。

2. まちづくりの基本方針（重点パッケージ）のまとめ



(1) 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は12項目中11項目（92%）、横ばいの指標は1項目
- ・特に順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進
- ・スポーツの振興
- ・尾張旭まつりの開催

(2) 「自分らしく」を応援します

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は10項目中8項目（80%）、低下した指標は1項目
- ・順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・多文化共生社会の推進
- ・障がい者の自立と社会参加の促進
- ・多様な教育ニーズへの対応

(3) 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は10項目中7項目（70%）、低下した指標は3項目
- ・概ね順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・保育サービスの充実
- ・確かな学力の育成（小学校）

(4) 「人とのつながり」を大切にします

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は9項目中4項目（45%）、横ばいの指標、低下した指標は各2項目
- ・順調に「主な取組」が推進できている指標もある一方、他の重点パッケージと比較すると課題がみられる。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・地域福祉活動の推進
- ・学校・家庭・地域の連携（小学校）

(1) 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます

重点的に実施する「主な取組」

●安全で安心な生活を送ることができる環境づくり

防災体制の充実（5-2-1）、省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進（6-1-1）

●暮らしの質の向上

健康づくり事業の充実（1-1-1）、デジタル化の推進（8-2-2）

●住みやすいまちとしての特徴の充実・継承

良好な市街地の形成（4-1-1）、緑・農地・水辺とふれあえる場づくり（4-3-2）

●楽しさを感じるまちづくり

芸術文化の振興（3-4-2）、スポーツの振興（3-4-3）、活力ある中心拠点の再構築（4-1-2）、尾張旭まつりの開催（7-3-1）、地域資源の創出・磨き上げ（7-3-2）

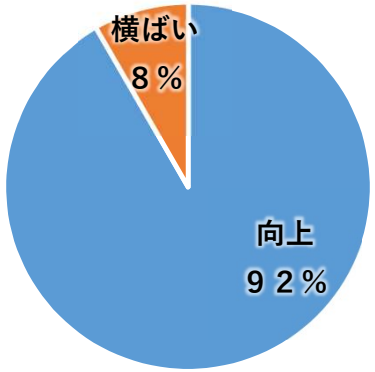
評価結果のまとめ

・指標値が特に向上した「主な取組」について、「省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進」は市民からの需要が高い事業である。また、スポーツイベントや尾張旭まつりの参加者・来場者数が大幅に増加しており、「楽しさ」の創出につながることができた。

・その他の項目においても、積極的なPRや働きかけを行ったことにより、『「暮らしやすさ」に楽しさを加えます』の全体的な推進につながった。

・「緑・農地・水辺とふれあえる場づくり」のうち、市民農園の区画数は、唯一指標値が横ばいで推移しているが、適切な運営と現状市が有する農作物を栽培する場の提供は行えている。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
5-2-1	防災体制の充実	各種団体との防災協定の累計締結数	上がると良い指標	件	95	107	115	向上	(取組内容)協定締結に向けて、企業等に積極的に声がけした。 (取組評価)協定締結数の増加に大きく影響した。	危機管理課
6-1-1	省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進	省エネルギー設備導入補助事業などにより導入設置した累計設備数	上がると良い指標	台	1,300	1,602	2,100	向上	(取組内容)補助事業について、広報やホームページで周知するとともに、窓口で案内を配布した。 (取組評価)9月には補助事業の予算額に達したため、市民からの需要は高い事業と評価する。	環境課
4-1-1	良好な市街地の形成	市街地整備事業の完了面積	上がると良い指標	ha	628.7	635.0	658.8	向上	(取組内容) ・尾張旭北原山土地区画整理組合が実施する建物移転、道路築造などに対して、補助金等を交付した。 ・狭あい道路の解消に向け路線を整備した。 (取組評価)既成市街地での取組や土地区画整理事業を推進したことで、市街地整備面積が増加した。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	都市計画課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	市民農園の区画数	上がると良い指標	区画	136	136	160	横ばい	(実施内容)尾張旭市ふれあい農園の管理運営に関する条例に基づき、募集、維持管理、使用料徴収を行った。 (取組評価)農作物を栽培する場を提供することで、緑・農地・水辺とふれあえる場づくりに寄与している。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	矢田川自転車道の延べ整備延長	上がると良い指標	km	0.3	0.6	8.0	向上	(実施内容)設定している基準値は令和4年度実績値である。令和5年度に整備工事を行ったことを理由に実績値は向上したが、令和6年度は優先順位の高い他の事業を行ったため、整備工事は実施できなかった。 (事業評価)工事を再開することで、指標を向上させることが可能。	公園農政課
1-1-1	健康づくり事業の充実	あさひ健康マイスターの対象事業数	上がると良い指標	事業	270	281	300	向上	(取組内容)各課の実施事業を確認しながら、対象となりうる事業について積極的に追加依頼を実施した。 (取組評価)各課へ積極的に追加依頼を実施したことにより、数値の大幅な向上が図られた。	健康都市・スポーツ課
8-2-2	デジタル化の推進	電子申請を可能とする手続数	上がると良い指標	件	67	76	100	向上	(取組内容) ・あいち電子申請・届出システムの利用終了に伴い、LoGoフォーム、マイナポータル(ぴったりサービス)の利用を庁内に呼び掛けた。 ・マイナポータル(ぴったりサービス)にキャッシュレス決済を導入した。 (取組評価) ・手続きの集約及び支払手段の拡充により市民の利便性が向上した。 ・あいち電子申請・届出システムの負担金が不要となることによるコスト削減効果が得られた。	情報政策課
3-4-2	芸術文化の振興	芸術文化イベント参加者数	上がると良い指標	人	12,015	14,344	13,200	向上	(取組内容)令和6年度より文化会館自主事業(芸術展)の開催回数を年間4回から6回へ変更したことが、参加者数の大幅な増加につながった。 (取組評価)文化会館自主事業(芸術展)の開催回数を年間4回から6回へ変更したことで、参加者数の大幅な増加に繋がった。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	生涯学習課
3-4-3	スポーツの振興	スポーツイベント参加者数	上がると良い指標	人	6,900	8,659	7,600	向上	(取組内容)市民スポーツ大会や学校ホリデースポーツフェスタ事業等スポーツイベントを実施した。 (取組評価)多くのスポーツに関するイベントを開催したことで、イベントへの参加者やスポーツを身近に感じる人の増加に寄与した。	健康都市・スポーツ課
4-1-2	活力ある中心拠点の再構築	三郷駅前周辺整備事業の進捗率	上がると良い指標	%	0	2	100	向上	(取組内容)三郷駅前地区市街地再開発組合が実施する調査設計業務に対して補助金及び負担金を交付した。また、関連する三郷駅前まち育てプロジェクトの支援を実施した。 (取組評価)組合の事業進捗に合わせ補助金及び負担金を交付し、円滑な事業推進に寄与した。	都市整備課・三郷駅周辺整備推進室
7-3-1	尾張旭まつりの開催	尾張旭まつりへの来場者数	上がると良い指標	人	62,000	108,000	115,000	向上	(取組内容)尾張旭まつり(さくらまつり、あさひ夏フェスタ、市民祭、農業まつり)を実施した。 (取組評価)さくらまつり及び市民祭の来場者数が増加した。また、基準値とした令和4年度の実績では、夏まつりが中止となり夏まつりの来場者数が含まれていないため、令和6年度夏フェスタ参加者数分が増加した。来場者数が大幅に増加し、まちのにぎわいの創出に寄与した。	産業課
7-3-2	地域資源の創出・磨き上げ	尾張旭まち案内への来場者数	上がると良い指標	人	9,181	10,510	13,000	向上	(取組内容)あさぴー20周年事業等のイベントやおいしい紅茶のまち日本一を積極的にPRした。 (取組評価)積極的なPRにより、来場者数が基準値より増加し、特産品やイベントの周知につながったことから、事業の効果は高いと評価する。	産業課

(2) 「自分らしく」を応援します

重点的に実施する「主な取組」

- 多様性を認め合う社会の形成
 - ジェンダー平等社会の推進（7-4-1）、多文化共生社会の推進（7-4-2）
- 一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会の形成
 - 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進（1-3-1）、障がい者の磁路地と社会参加の促進（1-4-2）、多様な教育ニーズへの対応（3-1-3）、公共交通による移動手段の確保（4-2-1）
- 自分らしくいられる暮らし方・働き方の応援
 - 生涯学習活動の推進（3-3-1）、ボランティア・市民活動団体への支援（5-1-2）、創業者への支援（7-1-3）

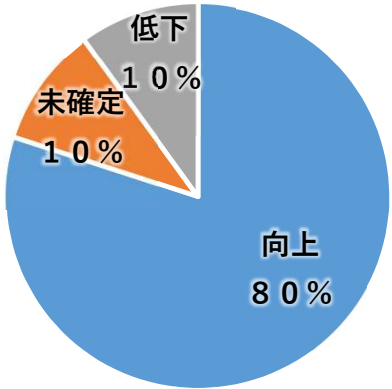
評価結果のまとめ

・数値が特に向上した「主な取組」について、「多文化共生社会の推進」では、日本語教室が2講座開設されたことにより参加者の増加につながった。「障がい者の自立と社会参加の促進」では、精神障がい者支援部会の積極的な活動により、市内企業での障がい者の雇用率の上昇率が高い結果となった。また、「多様な教育ニーズの提供」では、地域との接点を作りながら多様な学びを提供したことが、地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合の増加につながった。

・その他の項目においても、効果的な啓発活動やニーズに応じた適切な支援を行ったことにより、『「自分らしく」を応援します』の全体的な推進につながった。

・「創業者の支援」は、唯一指標値が低下しているが、支援を受けた人数はわずかに減少したものの、幅広く参加できるよう取り組むなどしており、取組は行えている。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
7-4-1	ジェンダー平等社会の推進	ジェンダー平等に係る啓発件数	上がると良い指標	件	25	26	28	向上	(取組内容)第2次尾張旭市男女共同参画プランに基づき、ジェンダー平等に係る多種多様な啓発を実施した。 (取組評価)6月の男女共同参画週間や11月のパープルリボン運動の時期に合わせ、集中的に啓発を実施することで、様々な分野で多様な価値観と発想が取り入れられるような機会の拡大・啓発につながった。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	多様性推進課
7-4-2	多文化共生社会の推進	日本語教室の参加者数	上がると良い指標	人	625	1,939	950	向上	(取組内容) ・本市で生活する外国人が地域住民と人間関係をつくれるよう、初期日本語教室の開催及び、市民グループが運営する日本語教室への支援を行った。 ・市民と外国人の交流を支援し、本市の国際交流の推進を図るため、尾張旭国際交流会に補助金を交付するなどの支援を行った。 (取組評価)日本語教室が、新たに2講座開設(基準値設定時との比較)されたことで、参加者数の大幅向上といった効果が得られた。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	多様性推進課
1-3-1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	生きがいを持っている高齢者の割合	上がると良い指標	%	78.1	-	85.0	未確定	(取組内容)令和7年度以降に高齢者保健福祉計画の策定を行うため、手法について検討を行った。 (取組評価)高齢者保健福祉計画の初年度である令和6年度は、具体的な取組を実施していないが、次年度以降予定している、高齢者保健福祉計画策定時アンケートの実施により、生きがいを持っている高齢者の割合を把握することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進に向けた施策を計画に反映させる。	長寿課
1-4-2	障がい者の自立と社会参加の促進	市内企業での障がい者の雇用率	上がると良い指標	%	1.61	2.02	2.70	向上	(取組内容)精神障がい者支援部会が中心となり、瀬戸ハローワークの雇用促進指導に同行し障がい者雇用の啓発を行った。 (取組評価)市内企業での障害者雇用率は愛知県や全国平均よりも低いが、上昇率は高く、事業の効果が得られている。	地域福祉課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	69.7	82.7	71.0	向上	(取組内容)「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価)各校の特色を生かした取り組みを実施し、児童が地域と関わる機会を設定したことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	59.3	70.9	62.0	向上	(取組内容)「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価)各校の特色を生かした取り組みを実施し、生徒が地域と関わる機会を設定したことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
4-2-1	公共交通による移動手段の確保	市内を運行するバス・鉄道の利用者数	上がると良い指標	千人	12,290	12,968	13,619	向上	(取組内容) ・市営バスにバスロケーションシステムを導入した。 ・県のデマンド交通の実証実験に参画した。 ・利用促進に向け、各イベントでの周知活動、広報誌やホームページ等を活用した情報提供、ルートマップ等の配布を実施した。 (事業評価)システム導入や実証実験に参画することで利便性向上を図るとともに、機会を捉えて周知活動を実施し、利用促進に寄与した。	都市計画課
3-3-1	生涯学習活動の推進	生涯学習講座の参加者数	上がると良い指標	人	51,342	55,936	60,000	向上	(取組内容)生涯学習の推進に向けて、市、教育委員会、指定管理者が各種講座を実施した。 (取組評価)広範囲にわたる分野の講座が実施されていることにより、多くの市民が生涯学習講座に参加している。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	生涯学習課
5-1-2	ボランティア・市民活動団体への支援	活動発表会及び交流会への参加団体数	上がると良い指標	団体	24	27	30	向上	(取組内容) ・市民活動団体連絡協議会の役員が毎月役員会を開催し交流会の内容を協議した。 ・4回開催した交流会について、曜日や時間を都度変えて開催した。 ・ホームページ掲示、公式LINE配信、公共施設への掲示及び団体への案内送付・送信により参加募集を行った。 (取組評価) 市民活動団体連絡協議会の役員が、市民活動支援センターの利用登録団体へのヒアリングを行いそのニーズを踏まえて企画し開催したことで、新たな団体の参加につながった。	市民活動課
7-1-3	創業者への支援	創業支援を受けた創業者の数	上がると良い指標	人	36	35	38	低下	(取組内容) 特定創業支援等事業として全5回の創業セミナー、セミナー後のフォローアップセミナーを実施した。また、市及び連携支援事業者(市商工会、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫)に相談窓口を設置した。 (取組評価) 創業セミナーにて、各連携支援事業者から支援内容を説明したことや、フォローアップセミナーにて平成28年度からの創業セミナー受講者全てに開催案内を行ったことで、創業者支援の充実につながった。	産業課

(3) 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

重点的に実施する「主な取組」

- 安心してこどもを産める環境づくり
母子保健の充実（1-1-4）、子育て不安の解消（2-2-1）、妊婦・子育て家庭への支援（2-2-2）、少子化対策への対応（2-3-4）
- 働きながら子育てできる環境づくり
保育サービスの充実（2-1-1）、放課後の居場所づくり（2-3-1）
- 子育てしやすい環境づくり
公園などによるうおいのある空間づくりと活用（4-1-3）
- こどもの可能性を広げる機会づくり
豊かな心と健やかな体の育成（3-1-1）、確かな学力の育成（3-1-2）

評価結果のまとめ

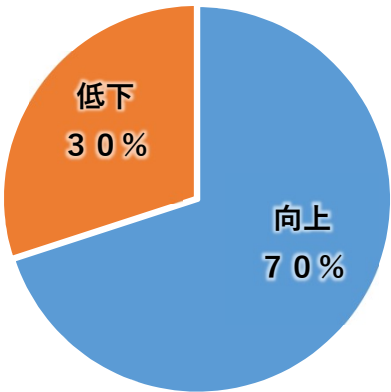
・数値が特に向上した「主な取組」について、「保育サービスの充実」では、リフレッシュ時保育の利用率が高い状況にある。また、「確かな学力の育成」では、ＩＣＴ機器の活用や教員の授業力向上により、小学校で効果がみられる。

・定量評価を行わない「主な取組」についても、相談体制が整備され、適切な支援が行われており、『「子育てしやすいまち」の魅力を高めます』の概ね順調な推進につながった。

・児童の放課後の居場所づくりを推進したことで児童クラブ利用者の増加につながったが、更なるニーズの増加への対応が課題となっており、また、民間保育所整備により待機児童対策に取り組んでいるものの、指標値としては待機児童が増加となった項目がある。

※指標の種別「その他」は含めていません。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
1-1-4	母子保健の充実	妊娠後期の妊娠相談対応率	その他 (推移を見守る指標)	%	—	100	100	—	(取組内容) ・妊娠8か月頃に全員対象のアンケートを実施。相談を希望する方へ電話や面談等で相談対応した。 ・妊娠後期電話相談を実施し、初産婦、多胎妊婦、ハイリスク妊婦等へ電話相談を実施した。 (取組評価)不安を抱える妊婦の相談にのることとあわせ、出産・子育てに関する情報提供を行うことで、産後の支援につなげることができた。	こども家庭課
2-2-1	子育て不安の解消	子育て支援センターなどの利用者数	その他 (推移を見守る指標)	人	21,148	34,484	21,000	—	(取組内容)スマートフォンで取得できるアプリ(あさぴー子育て応援ナビ)を使用し、子育てに関する情報をプッシュ通信で通知したり、子育て支援センターのおたよりを毎月ホームページに掲載し利用につながった。 (取組評価)仲間づくりの場(Let's産後ケア、年齢別サロン、多胎児サロン)の提供を行い、保護者の悩み相談にも寄り添い、必要な支援を提供できるよう関係機関と連携を図った。リフレッシュ預かり事業では、保護者が息抜きし、家庭の困り度に応じたサポートを提案し、子育て力の向上につながった。	こども家庭課
2-2-2	妊婦・子育て家庭への支援	伴走型支援を実施した保護者数	その他 (推移を見守る指標)	人	1,523	1,366	—	—	(取組内容)妊娠期から出産・子育てまでを継続的に支援するため、面談や情報発信等を実施した。 (取組評価)妊娠届出数や出生数の減少により、実績値は減少したが、伴走型支援により一貫した相談体制が整備され、様々なニーズに即した必要な支援につなぐことができた。	こども家庭課
2-3-4	少子化対策への対応	計画に基づいて実施した取組の割合	その他 (推移を見守る指標)	%	100	100	100	—	(取組内容)第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、各事業を実施した。 (取組評価)計画策定当初(令和2年度)に設定した目標値に届かなかった事業もあるが、全ての事業に取り組んだことで子ども・子育てに関する事業の充実を図ることができた。	こども未来課
2-1-1	保育サービスの充実	待機児童数	下がると良い指標	人	8	15	0	低下	(取組内容) ・緊急対策として小規模保育事業所を7月に開設した。 ・令和7年度から小規模保育事業所1か所、令和8年度から認可保育所2か所の整備を行う事業者を選定した。 ・次年度入園調整に当たり、定員弾力化により受入れ枠の調整を行った。 (取組評価)小規模保育事業所の開設により15人の児童を新たに受け入れることができた。今後も保育ニーズの動向を注視し、受け皿確保の検討が必要である。	保育課
2-1-1	保育サービスの充実	一時預かり利用者数	上がると良い指標	人	577	893	600	向上	(取組内容)リフレッシュ時保育をはんのき保育園で新規に実施した。 (取組評価)リフレッシュ時保育の利用率が非常に高く、有効性は高いと評価する。	保育課
2-3-1	放課後の居場所づくり	児童クラブなどを利用している児童数	上がると良い指標	人	1,161	1,239	1,300	向上	(取組内容)公立児童クラブの運営と民間学童クラブへの委託等により、必要とする児童への放課後の居場所づくりを推進した。 (取組評価) ・新型コロナウイルス感染症への不安が薄れたことや、旭丘・旭の両小学校区での宅地開発の影響による児童数の増加に伴うニーズの増加などが要因となり申込者数が大幅に増加し、待機児童が生じている。令和5年度には受入れ定員数に余裕があった児童クラブにおいても定員一杯まで児童を受け入れたことにより、利用児童数が増加している。 ・申込児童数が増加している小学校区において待機児童対策を進める必要がある。	こども課
4-1-3	公園などによるうおいのある空間づくりと活用	公園などの面積	上がると良い指標	ha	443.4	445	445.0	向上	(取組内容) ・旭台第1号公園のリニューアル工事を実施した。 ・劣化があり、補修の必要な木製ベンチを耐久性のあるベンチに更新した。 (取組評価)実績値の変更はなかったが、既存の公園等についてリニューアル工事や適切な管理により安全で快適に利用できる空間づくりに寄与した。	公園農政課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	82.4	84.0	85.0	向上	(取組内容)学校へ行くことが楽しいと感じる児童の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、児童が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価)令和6年4月から教育支援センターを設置し、不登校相談・教育支援体制を強化したことで、数値が上昇した。	学校教育課

(3) 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

重点的に実施する「主な取組」

●安心してこどもを産める環境づくり

母子保健の充実（1-1-4）、子育て不安の解消（2-2-1）、妊婦・子育て家庭への支援（2-2-2）、少子化対策への対応（2-3-4）

●働きながら子育てできる環境づくり

保育サービスの充実（2-1-1）、放課後の居場所づくり（2-3-1）

●子育てしやすい環境づくり

公園などによるうるおいのある空間づくりと活用（4-1-3）

●こどもの可能性を拡げる機会づくり

豊かな心と健やかな体の育成（3-1-1）、確かな学力の育成（3-1-2）

評価結果のまとめ

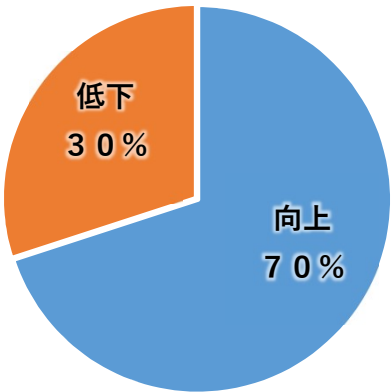
・数値が特に向上した「主な取組」について、「保育サービスの充実」では、リフレッシュ時保育の利用率が高い状況にある。また、「確かな学力の育成」では、ＩＣＴ機器の活用や教員の授業力向上により、小学校で効果がみられる。

・定量評価を行わない「主な取組」についても、相談体制が整備され、適切な支援が行われており、『「子育てしやすいまち」の魅力を高めます』の概ね順調な推進につながった。

・児童の放課後の居場所づくりを推進したことで児童クラブ利用者の増加につながったが、更なるニーズの増加への対応が課題となっており、また、民間保育所整備により待機児童対策に取り組んでいるものの、指標値としては待機児童が増加となった項目がある。

※指標の種別「その他」は含めていません。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	85.9	85.5	87.0	低下	(取組内容)学校へ行くことが楽しいと感じる生徒の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、生徒が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価)令和6年4月から教育支援センターを設置し、不登校相談・教育支援体制を強化するとともに、新たに中学校1校で校内教育支援センターを設置したが、数値が微減した。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)国語	上がると良い指標	%	78.5	88.3	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った (取組評価)ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)算数	上がると良い指標	%	72.3	79.9	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った (取組評価)ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)国語	上がると良い指標	%	76.3	78.2	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った (取組評価)ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)数学	上がると良い指標	%	76.6	75.0	80.0	低下	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った (取組評価)ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力向上のための研修を行ったが、数値の上昇にはつながらなかったため、研修内容について見直す必要がある。	学校教育課

(4) 「人とのつながり」を大切にします

重点的に実施する「主な取組」

- まちに対する愛着や誇りの形成
 - 市民協働による健康づくりの推進（1-1-5）、文化財の保護・保存及び次世代への継承（3-4-1）、愛着と誇りの醸成（8-1-2）
- 大切な人とのきずなの強化
 - 地域包括ケアシステムの推進（1-3-5）、地域福祉活動の推進（1-5-2）、重層的支援体制の整備（1-5-3）、学校・家庭・地域の連携（3-2-1）
- 市民・事業者と地域とのかかわりの強化
 - 地域コミュニティ活動の活性化支援（5-1-1）、地域商工業の活性化（7-1-1）

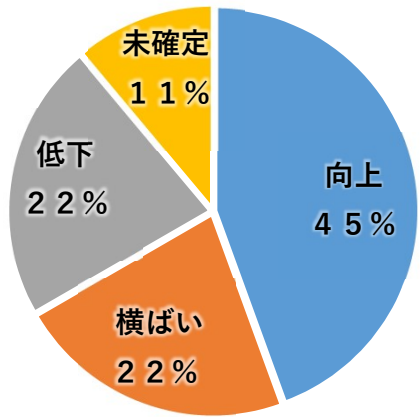
評価結果のまとめ

・数値が特に向上した「主な取組」について、「地域福祉活動の推進」では広報誌での周知によりボランティア養成講座の参加者の増加がみられた。「学校・家庭・地域の連携」では、地域と関わる機会の設定により、特色ある学校づくりを推進したことで、特に小学校で地域や保護者との相互理解が高まっている。

・要介護認定者の在宅の割合や地域経済循環率、自治会・町内会加入世帯数が減少しており、社会課題が反映された結果となっている。『「人とのつながり」を大切にします』の推進は、他の重点パッケージと比較して順調とは言えず、市民・事業者と地域とのかかわりの強化などに対し、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。

※指標の種別「その他」は含めていません。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
1-1-5	市民協働による健康づくりの推進	健康づくり推進員会及び食育ラボの会員数	上がると良い指標	人	51	55	65	向上	(取組内容) ・健康まつりに出展し、活動のPRを行った。 ・各団体の役員会等へ参加し、困りごと等ないか適宜確認し、活動支援を行った。 ・令和5年度に実施した健康づくり推進員養成講座修了者が、活動を楽しく継続できるよう支援した。 (取組評価)養成講座を行い活動支援を行うことで新たな担い手を増やすことができた。	健康課
3-4-1	文化財の保護・保存及び次世代への継承	無形民俗文化財保存会員数	上がると良い指標	人	1,045	1054	1,150	向上	(取組内容) ・保存伝承及び後継者の育成等のため、各保存会へ無形民俗文化財保存育成委託料を支出した。 ・会員募集のため、体験者の声を集めたチラシを作成及び体験会等を実施した。 (取組評価)上記の取組により、無形民俗文化財保存会活動人数は、基準値と比較し横ばいで推移しています。	生涯学習課
8-1-2	愛着と誇りの醸成	本市に愛着を感じている市民の割合	上がると良い指標	%	81.3	—	85.0	未確定	(取組内容)人口問題対策本部において、移住定住を促進するため次年度の取組をまとめた。また、転入転出者アンケートを実施し、約半年間の総括報告書を作成した。 (取組評価) ・各課にも照会し、人口問題に資する幅広い取組を実施・検討できた。 ・転入転出者アンケートにより、当事者の声を聞くことができた。	企画課
1-3-5	地域包括ケアシステムの推進	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合	上がると良い指標	%	91.0	90.1	93.0	低下	(取組内容)高齢者保健福祉計画に基づき、在宅生活継続のための支援や介護サービスを実施した。 (取組評価)高齢化による要介護認定者数の増加や、介護者の高齢化が影響し、在宅介護が困難になってきている現状を踏まえ、在宅生活継続のための支援や介護サービスの実施にとどまらず、広く周知していく必要がある。	長寿課
1-5-2	地域福祉活動の推進	ボランティア養成者数	上がると良い指標	人	154	185	170	向上	(取組内容)広報誌による周知を行ったことで、ボランティア養成講座の参加者数の向上に影響した。 (取組評価)ボランティアスキルアップ講座ではLINEの活用方法を学び、ボランティア活動でもLINEを活用し、連携が図られたといった効果が得られた。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	地域福祉課
1-5-3	重層的支援体制の整備	多世代交流型サロンなどの設置数	上がると良い指標	か所	0	0	3	横ばい	(取組内容)近隣市への視察、各種セミナー等の受講、関係課・関係機関等との打合せを実施した。 (取組評価)重層的支援体制整備に向けて進捗している。	地域福祉課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(小学校)	上がると良い指標	%	66.7	88.9	100	向上	(取組内容) 「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価) 各校の特色を生かした取組を実施し、児童が地域と関わる機会を設定したことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(中学校)	上がると良い指標	%	66.7	66.7	100	横ばい	(取組内容) 「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価) 各校の特色を生かした取組を実施し、生徒が地域と関わる機会を設定したことが、数値の維持につながった。	学校教育課
5-1-1	地域コミュニティ活動の活性化支援	自治会・町内会加入世帯数	その他 (推移を見守る指標)	世帯	21,129	20,668	21,129	—	(取組内容) ・自治会町内会加入促進のためのチラシとグッズを配布した。 ・活動の様子を市のホームページなどで知らせた。 (取組評価)加入促進のためのチラシとグッズを、年度初めに配布することで、新たな加入者の確保に貢献したが、町内会の連合自治会からの脱会や自治会町内会からの退会者は増加しており、退会者を減らすことに直接つながる有効な手段がない状況である。	市民活動課
7-1-1	地域商工業の活性化	地域経済循環率	上がると良い指標	%	63.2	60.6	67.0	低下	(取組内容)産業振興ネットワーク形成促進事業の一環で、異業種交流会(MEET UP ASAHI)を開催し、市、商工会、金融機関などを中心に全5回で延べ154人の参加、9件の事業マッチングがあり、市内取引の促進を図ることができた。 (取組評価)実績値は平成30年(2018年)調査時点の数値であるため、取組内容の影響を評価することはできないが、地域経済循環率の向上には、市内の事業者への支援や、事業者同士の取引を促進させながら地域経済の活性化を図っていく必要がある。	産業課
7-1-1	地域商工業の活性化	製造品出荷額	その他 (推移を見守る指標)	百万円	157,735	168,474	—	—	(取組内容)数値取得年度(令和5年度)は、物価高騰対策として省エネ設備更新補助金を実施し、製造業等のエネルギーコスト等の固定費削減を支援した。 (取組評価)物価高騰等によるエネルギーコストの増加は長期化しており、早期に固定費削減に係る支援に取り掛かったことが、成果の向上に寄与している。	産業課

3. 基本目標のまとめ

全体の指標値の動向は、「主な取組」の指標全体（90）における対基準値の結果は、向上が56項目（62.2%）、低下が22項目（24.4%）、横ばいが9項目（10.0%）、数値未確定が3項目（3.3%）でした。なお、基本目標ごとの確認結果は次のとおりです。

	向上		低下		横ばい		未確定		計
基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち	10	(52.6%)	6	(31.6%)	1	(5.3%)	2	(10.5%)	19
基本目標2 こどもがすくすく成長するまち	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0%)	0	(0.0%)	3
基本目標3 豊かな心と知性を育むまち	16	(72.7%)	4	(18.2%)	2	(9.1%)	0	(0.0%)	22
基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち	11	(73.3%)	1	(6.7%)	3	(20.0%)	0	(0.0%)	15
基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち	6	(66.7%)	3	(33.3%)	0	(0%)	0	(0.0%)	9
基本目標6 環境にやさしい生活を送るまち	4	(50.0%)	4	(50.0%)	0	(0%)	0	(0.0%)	8
基本目標7 笑顔と活力があふれるまち	4	(50.0%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	8
基本目標8 未来につながる行政経営	3	(50.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	6

- ※ 指標値の合計数には、なりゆき値として推移を見守る指標は含まれていません。
- ※ 定量評価（対基準値）については、基準値と同値である場合を“横ばい”としています。
- ※ 割合は、小数点第二位を切り捨て・切り上げ処理をしています。そのため、割合の合計が100%ではないものもあります。
- ※ 詳細は、基本目標ごとのシートを参照してください。



基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち(保健・医療・福祉)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
1-1-1	健康づくり事業の充実	重1	あさひ健康マイスターの対象事業数	上がるの良い指標	事業	270	281	300	向上	(取組内容) 各課の実施事業を確認しながら、対象となりうる事業について積極的に追加依頼を実施した。 (取組評価) 各課へ積極的に追加依頼を実施したことにより、対象事業数の大幅な向上が図られた。	健康都市・スポーツ課
1-1-2	健康相談・保健指導の充実		健康相談対応率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 窓口、電話、訪問等により、5,799件の健康相談に対応した。 (取組評価) ・乳幼児から高齢者まですべての世代の健康相談に対応した。 ・必要に応じて関係機関につなげる等の支援を行った。	健康課
1-1-3	早期発見・予防の推進		乳幼児健診受診率	上がるの良い指標	%	98.8	97.9	100	低下	(取組内容) ・個人通知を送付し、受診勧奨を行った。 ・未受診者に対して、訪問や電話等で受診勧奨を行った。 (取組評価) ・児の疾患等で集団健診の受診が難しい場合が一定数ある。 ・親の就労や児の体調不良等で未受診となる場合もあるが、別日の案内を行うなどし、できるだけ受診につながる働きかけを続けていく必要がある。	こども家庭課
1-1-3	早期発見・予防の推進		がん検診要精密検査受診率	上がるの良い指標	%	89.0	91.0	95.0	向上	(取組内容) ・一次医療機関へ、対象者への精密検査の必要性の説明を依頼した。 ・精密検査未受診者へ、受診勧奨及び受診しない理由を確認するアンケートを送付した。 (取組評価) 検診を受けた医療機関の医師から直接説明を受けることで、精密検査の必要性を理解し、受診につながった。	健康課
1-1-4	母子保健の充実	重3	妊娠後期の妊娠相談対応率	その他	%	—	100	100	—	(取組内容) ・妊娠8か月頃に全員対象のアンケートを実施。相談を希望する方へ電話や面談等で相談対応した。 ・妊娠後期電話相談を実施し、初産婦、多胎妊婦、ハイリスク妊婦等へ電話相談を実施した。 (取組評価) 不安を抱える妊婦の相談にのることとあわせ、出産・子育てに関する情報提供を行うことで、産後の支援につなげることができた。	こども家庭課
1-1-5	市民協働による健康づくりの推進	重4	健康づくり推進員会及び食育ラボの会員数	上がるの良い指標	人	51	55	65	向上	(取組内容) ・健康まつりに出展し、活動のPRを行った。 ・各団体の役員会等へ参加し、困りごと等ないか適宜確認し、活動支援を行った。 ・令和5年度に実施した健康づくり推進員養成講座修了者が、活動を楽しく継続できるよう支援した。 (取組評価) 養成講座を行い活動支援を行うことで新たな担い手を増やすことができた。	健康課
1-2-1	日常医療体制の確保		瀬戸旭休日急病診療所を利用した市民数	その他	人	2,534	2,297	—	—	(取組内容) 診療所の運営経費を負担金として拠出し、休日の急病診療体制を確保した。(負担割合は、尾張旭市42.2%、瀬戸市57.8%) (取組評価) 市民が疾病などの救急時に、安心して適正な医療が受けられる体制を維持することができた。	健康課
1-2-2	高度医療体制の確保		公立陶生病院を利用した市民数	その他	人	87,753	87,842	—	—	(取組内容) 病院運営に係る経費を負担し、市民の健康保持や高度医療提供を図った。(負担割合は、尾張旭市20.8%、瀬戸市74.1%、長久手市5.1%) (取組評価) 公立陶生病院(第3次救急医療施設)の運営費の一部を負担することで、病院機能の維持向上を図り、市民が常時高度な医療を受けることができた。	健康課
1-2-3	福祉医療費の助成		福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合	上がるの良い指標	%	96.3	95.3	100.0	低下	(取組内容) 福祉医療費助成制度について、広報やホームページで幅広く周知した。また、福祉部門やこども部門の関係課と連携し、案内することで助成を受けやすくした。 (取組評価) アンケート結果に基づき、福祉医療費助成制度の各種申請をオンラインでもできるようにしたことで、市民サービス向上につながった。	保険医療課
1-2-4	国民健康保険の健全な運営		特定健康診査受診率	上がるの良い指標	%	45.5	41.8	56.0	低下	(取組内容) 令和6年度から事業者による受診勧奨を導入し、事業者が受診勧奨通知を作成・発送した。 (取組評価) 上記取り組みにより、受診勧奨後の受診者数増加につながった。	保険医療課
1-2-4	国民健康保険の健全な運営		後期高齢者医療健康診査受診率	上がるの良い指標	%	43.2	42.44	51.1	低下	(取組内容) 令和6年度から事業者による受診勧奨を導入し、事業者が受診勧奨通知を作成・発送した。 (取組評価) 通知発送後に受診者数は伸びたものの、受診者の増加以上に被保険者数が増加したため、受診率は伸び悩んだ。	保険医療課
1-3-1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	重2	生きがいを持っている高齢者の割合	上がるの良い指標	%	78.1	—	85.0	比較不可	(取組内容) 令和7年度以降に高齢者保健福祉計画の策定を行うため、手法について検討を行った。 (取組評価) 高齢者保健福祉計画の初年度である令和6年度は、具体的な取り組みを実施していないが、次年度以降予定している、高齢者保健福祉計画策定時アンケートの実施により、生きがいを持っている高齢者の割合を把握することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進に向けた施策を計画に反映させる。	長寿課

基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち(保健・医療・福祉)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
1-3-2	介護予防の推進		介護予防教室参加者の改善割合	上がると良い指標	%	85.2	93.4%	88.0	向上	(取組内容) 少人数の参加者に対し、手厚くスタッフを配置しきめ細かにリハビリや生活指導を行った。 (取組評価) 買い物リハビリテーション終了者12名のうち、体力測定結果が改善・維持の者が11名、元気教室3クール参加者21名のうち、「主観的健康観」が維持・向上した者が20名であり、改善につながった。	長寿課
1-3-3	高齢者福祉の担い手育成		認知症サポーターの累計養成者数	上がると良い指標	人	10,113	11,173	18,000	向上	(取組内容) 認知症サポーター養成講座を、全13回開催した。 (取組評価) 複数回養成講座を実施したことで、延べ488人の講座受講につながり、認知症サポーター数が増加した。	長寿課
1-3-3	高齢者福祉の担い手育成		あさひ生活応援サポーターの累計登録者数	上がると良い指標	人	96	120	200	向上	(取組内容) あさひ生活応援サポーター養成講座事業計画に基づき、養成講座を3回実施した。 (取組評価) 修了者15名のうち13名が生活応援サポーターへの登録を行ったことから、事業の有効性は高いと評価する。	長寿課
1-3-4	高齢者福祉・介護サービスの充実		受けている介護サービスに満足している利用者の割合	上がると良い指標	%	97.2	—	99.0	比較不可	(取組内容) 令和7年度以降に高齢者保健福祉計画の策定を行うため、手法について検討を行った。 (取組評価) 高齢者保健福祉計画の初年度である令和6年度は、具体的な取り組みを実施していないが、次年度以降予定している、高齢者保健福祉計画策定時アンケートの実施により、受けている介護サービスに満足している利用者の割合を把握することで、高齢者福祉・介護サービスの充実を図る施策を計画に反映させる。	長寿課
1-3-5	地域包括ケアシステムの推進	重4	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合	上がると良い指標	%	91.0	90.1	93.0	低下	(取組内容) 高齢者保健福祉計画に基づき、在宅生活継続のための支援や介護サービスを実施した。 (取組評価) 高齢化による要介護認定者数の増加や、介護者の高齢化が影響し、在宅介護が困難になってきている現状を踏まえ、在宅生活継続のための支援や介護サービスの実施にとどまらず、広く周知していく必要がある。	長寿課
1-4-1	障がい者差別の解消、虐待の防止及び権利擁護の推進		障がい者の虐待件数	下がると良い指標	人	2	3	0	低下	(取組内容) ・尾張東部権利擁護センターと連携し、成年後見制度の周知や支援を行った。 ・高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク連絡会に参加し関係者間の連携強化、協力体制の構築を図った。 ・障がい者支援の人材育成事業で障害福祉事業所向けの虐待防止研修を実施した。 (取組評価) 多業種による取組が行われ、関係者の中で虐待に対する認識が深まった。	地域福祉課
1-4-2	障がい者の自立と社会参加の促進	重2	市内企業での障がい者の雇用率	上がると良い指標	%	1.61	2.02	2.70	向上	(取組内容) 精神障がい者支援部会が中心となり、瀬戸ハローワークの雇用促進指導に同行し障がい者雇用の啓発を行った。 (取組評価) 市内企業での障害者雇用率は愛知県や全国平均よりも低いのが、上昇率は高く、事業の効果が得られている。	地域福祉課
1-4-3	障害福祉サービス事業所における人材育成の支援		支援による専門研修の受講者数	上がると良い指標	人	0	80	10	向上	(取組内容) 障害福祉事業所向けに、市主催で虐待防止及びカスハラ対策に関する研修を実施した。 (取組評価) 研修を実施した結果、事業所の質の向上に役立った。	地域福祉課
1-4-4	障がい者に対する包括的な支援体制の構築		障がい者への支援体制整備に関する関係機関との会議開催回数	その他	回	26	28	26	—	(取組内容) 4つの専門部会と1つのワーキンググループで連携会議を行い、その結果を持ち寄る運営会議、全体会議を含め27回の会議を開催した。 (取組評価) 多業種による情報共有や課題の発見が行われ、支援体制の整備が進んでいる。	地域福祉課
1-5-1	セーフティネットの充実		生活困窮相談者の中でプランを作成した者の自立達成割合	上がると良い指標	%	0.58	2.18	5.80	向上	(取組内容) 継続的な相談支援が必要な方に、同意の上プランを作成し、生活困窮者と支援者が目標を共有して自立を目指した。 (取組評価) 生活困窮者と支援者が信頼関係を構築することができたものの、自立に至らないケースがあった。自立に至るには時間を要することもあるため、継続的に支援を行う必要がある。	地域福祉課
1-5-2	地域福祉活動の推進	重4	ボランティア養成者数	上がると良い指標	人	154	185	170	向上	(取組内容) 広報誌による周知を行ったことで、ボランティア養成講座の参加者数の向上に影響した。 (取組評価) ボランティアスキルアップ講座ではLINEの活用方法を学び、ボランティア活動でもLINEを活用し、連携が図られたといった効果が得られた。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	地域福祉課
1-5-3	重層的支援体制の整備	重4	多世代交流型サロンなどの設置数	上がると良い指標	か所	0	0	3	横ばい	(取組内容) 近隣市への視察、各種セミナー等の受講、関係課・関係機関等との打合せを実施した。 (取組評価) 重層的支援体制整備に向けて進捗している。	地域福祉課

基本目標2 こどもがすくすく成長するまち(こども・子育て)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
2-1-1	保育サービスの充実	重3	待機児童数	下がるとうい指標	人	8	15	0	低下	(取組内容) ・緊急対策として小規模保育事業所を7月に開設した。 ・令和7年度から小規模保育事業所1か所、令和8年度から認可保育所2か所の整備を行う事業者を選定した。 ・次年度入園調整に当たり、定員弾力化により受入れ枠の調整を行った。 (取組評価) 小規模保育事業所の開設により15人の児童を新たに受け入れることができた。今後も保育ニーズの動向を注視し、受け皿確保の検討が必要である。	保育課
2-1-1	保育サービスの充実	重3	一時預かり利用者数	上がるとうい指標	人	577	893	600	向上	(取組内容) リフレッシュ時保育をはんのき保育園で新規に実施した。 (取組評価) リフレッシュ時保育の利用率が非常に高く、有効性は高いと評価する。	保育課
2-1-2	幼稚園・民間保育施設への支援		民間施設を利用している児童数	その他	人	1,092	1,081	—	—	(取組内容) 幼稚園及び認可外保育施設に通う本市児童が必要なサービスを受けられるよう事務処理を行った。 (取組評価) 不具合やトラブルが生じることはなかった。	保育課
2-2-1	子育て不安の解消	重3	子育て支援センターなどの利用者数	その他	人	21,148	34,484	21,000	—	(取組内容) スマートフォンで取得できるアプリ(あさびー子育て応援ナビ)を使用し、子育てに関する情報をプッシュ通信で通知したり、子育て支援センターのおたよりを毎月ホームページに掲載した。 (取組評価) 仲間づくりの場(Let's産後ケア、年齢別サロン、多胎児サロン)の提供を行い、保護者の悩み相談にも寄り添い、必要な支援を提供できるよう関係機関と連携を図った。リフレッシュ預かり事業では、保護者が息抜きし、家庭の困り度に応じたサポートを提案し、子育て力の向上につながった。	こども家庭課
2-2-2	妊婦・子育て家庭への支援	重3	伴走型支援を実施した保護者数	その他	人	1,523	1,366	—	—	(取組内容) 妊娠期から出産・子育てまでを継続的に支援するため、面談や情報発信等を実施した。 (取組評価) 妊娠届出数や出生数の減少により、実績値は減少したが、伴走型支援により一貫した相談体制が整備され、様々なニーズに即した必要な支援につながることができた。	こども家庭課
2-2-3	発達が気になるこどもへの支援		こどもの発達相談の相談対応率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) ・相談窓口では、保護者の不安や疑問に対し、丁寧かつ迅速に対応する仕組みが確立されていた。 ・関係機関との連携や情報共有が日常的に行われており、相談内容に応じた多職種による支援を実施した。 (取組評価) 「発達相談の入り口」として、幅広い相談に適切に対応し、必要に応じて専門機関や支援サービスにつながることができた。	こども家庭課
2-3-1	放課後の居場所づくり	重3	児童クラブなどを利用している児童数	上がるとうい指標	人	1,161	1,239	1,300	向上	(取組内容) 公立児童クラブの運営と民間学童クラブへの委託等により、必要とする児童への放課後の居場所づくりを推進した。 (取組評価) ・新型コロナウイルス感染症への不安が薄れたことや、旭丘・旭の両小学校区での宅地開発の影響による児童数の増加に伴うニーズの増加などが要因となり申込者数が大幅に増加し、待機児童が生じている。令和5年度には受入れ定員数に余裕があった児童クラブにおいても定員一杯まで児童を受け入れたことにより、利用児童数が増加している。 ・申込児童数が増加している小学校区において待機児童対策を進める必要がある。	こども課
2-3-2	子育て世帯への経済的支援		児童手当の受給者数	その他	人	6,247	6,452	—	—	(取組内容) ・法令に則し、対象者への手当給付を実施した。 ・令和6年10月からの大幅な制度改正に対応した事務を実施した。 (取組評価) ・児童手当の受給者数は、少子化の進行により、減少の一途であったが、制度改正により受給対象者等が大幅に拡充されたことで増加している。 ・国による制度改正ではあるものの、子育て世帯への経済的支援の充実が図られた。	こども課
2-3-2	子育て世帯への経済的支援		児童扶養手当の受給者数	その他	人	426	386	—	—	(取組内容) ひとり親家庭に必要な経済的援助や自立を促すため、児童扶養手当を支給した。 (取組評価) ・支援が必要なひとり親家庭に手当が支給できている。 ・所得制限限度額が制度改正により拡大されたが、引き続き、所得が超過することで、手当の支給対象から外れるひとり親家庭が増加したことで、受給者数が減少している。	こども課
2-3-3	こどもの人権擁護		こどもの一時保護・施設入所件数	その他	件	29	30	—	—	(取組内容) 要保護児童対策地域連携会議の開催や虐待防止推進啓発を実施するとともに、児童相談所をはじめとした関係機関等と連携して、要保護児童等の早期発見・早期対応を行った。 (取組評価) 関係機関等と連携した対応を行うことで、こどもの安全を守るための適切な支援や児童虐待の未然防止に寄与した。	こども家庭課
2-3-4	少子化対策への対応	重3	計画に基づいて実施した取組の割合	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、各事業を実施した。 (取組評価) 計画策定当初(令和2年度)に設定した目標値に届かなかった事業もあるが、全ての事業に取り組んだことで子ども・子育てに関する事業の充実を図ることができた。	こども未来課

基本目標3 豊かな心と知性を育むまち(教育・生涯学習)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	重3	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	82.4	84.0	85.0	向上	(取組内容) 学校へ行くことが楽しいと感じる児童の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、児童が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価) 令和6年4月から教育支援センターを設置し、不登校相談・教育支援体制を強化したことで、数値が上昇した。	学校教育課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	重3	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	85.9	85.5	87.0	低下	(取組内容) 学校へ行くことが楽しいと感じる生徒の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、生徒が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価) 令和6年4月から教育支援センターを設置し、不登校相談・教育支援体制を強化するとともに、新たに中学校1校で校内教育支援センターを設置したが、数値が微減した。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)国語	上がると良い指標	%	78.5	88.3	80.0	向上	(取組内容) 校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価) ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)算数	上がると良い指標	%	72.3	79.9	80.0	向上	(取組内容) 校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価) ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)国語	上がると良い指標	%	76.3	78.2	80.0	向上	(取組内容) 校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価) ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力が上がったことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)数学	上がると良い指標	%	76.6	75.0	80.0	低下	(取組内容) 校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価) ICT機器の活用が進むとともに教員の授業力向上のための研修を行ったが、数値の上昇にはつながらなかったため、研修内容について見直す必要がある。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	重2	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	69.7	82.7	71.0	向上	(取組内容) 「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価) 各校の特色を生かした取組を実施し、児童が地域と関わる機会を設定したことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	重2	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	59.3	70.9	62.0	向上	(取組内容) 「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価) 各校の特色を生かした取組を実施し、生徒が地域と関わる機会を設定したことが、数値の上昇につながった。	学校教育課
3-1-4	学校における指導体制の充実		ICT機器の活用について、十分サポートを受けられていると思う割合(小学校)	上がると良い指標	%	100	88.9	100	低下	(取組内容) ICT支援員によるサポートを依頼するとともに、尾張旭市独自でICT教育支援教員を配置し、教員が授業に注力できる環境づくりを行った。 (取組評価) ICT支援員、ICT教育支援教員が各学校へ巡回しているが、一般教員が相談できる日数及び訪問時間帯でないことが低下の原因であると考える。	学校教育課
3-1-4	学校における指導体制の充実		ICT機器の活用について、十分サポートを受けられていると思う割合(中学校)	上がると良い指標	%	100	66.7	100	低下	(取組内容) ICT支援員によるサポートを依頼するとともに、尾張旭市独自でICT教育支援教員を配置し、教員が授業に注力できる環境づくりを行った。 (取組評価) ICT支援員、ICT教育支援教員が各学校への巡回しているが、一般教員が相談できる日数及び訪問時間帯でないことが低下の原因であると考える。	学校教育課
3-1-5	安全安心で質の高い学校施設の整備		施設維持管理上の不具合による教育支障件数	その他	件	0	0	0	—	(取組内容) 快適な教育環境の実現へ向けて、小学校トイレ改修工事、小学校ロッカー改修工事、中学校体育館等空調工事設計委託、中学校屋外施設整備工事を実施した。 (取組評価) 小学校トイレ改修工事により便器の洋式化をし、中学校屋外施設整備工事により運動場に日よけ屋根を設置したことなどで、快適な教育環境の提供に寄与した。	教育政策課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	重4	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(小学校)	上がると良い指標	%	66.7	88.9	100	向上	(取組内容) 市内各小学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 (取組評価) 学校運営協議会を通じて、学校と地域の困り事を互いに共有した。地域の方々に学校ボランティアや伝統文化の講師を担っていただき、地域イベントにより多くの子供たちが参加するなど、学校と地域の連携による成果が見られた。	学校教育課

基本目標3 豊かな心と知性を育むまち(教育・生涯学習)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	重4	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(中学校)	上がると良い指標	%	66.7	66.7	100	横ばい	(取組内容) 市内各小学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 (取組評価) 学校運営協議会を通じて、学校と地域の困り事を互いに共有した。地域の方々に学校ボランティアや伝統文化の講師を担っていただき、地域イベントにより多くの子供たちが参加するなど、学校と地域の連携による成果が見られた。	学校教育課
3-2-2	家庭教育力の向上支援		家庭教育に関する講座の参加者数	上がると良い指標	人	973	1,363	1,100	向上	(取組内容) 市が企画する家庭教育学級(合同学級)の開催回数を4回実施した。(令和5年度は1回) (取組評価) 年度当初に家庭教育学級生として登録した者以外も参加可能としたため、参加者の増加につながり、家庭教育力を高めるきっかけづくりができている。	生涯学習課
3-2-3	多様な教育機関との連携		大学と連携した講座などの開催回数	上がると良い指標	回	17	19	20	向上	(取組内容) 大学との連携による市のイベントやボランティアへの参加、講座・研修の実施 (取組評価) 大学教員の専門性をいかした教育支援や生涯学習・公開講座の開催など、複数の大学と幅広く連携した。	学校教育課
3-2-4	就学の支援		就学支援希望への対応率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 支援を必要とする児童生徒の保護者から就学援助支援を実施した。 (取組評価) 就学援助により、支援を必要とする保護者の経済的な負担が軽減された。	学校教育課
3-3-1	生涯学習活動の推進	重2	生涯学習講座の参加者数	上がると良い指標	人	51,342	55,936	60,000	向上	(取組内容) 生涯学習の推進に向けて、市、教育委員会、指定管理者が各種講座を実施した。 (取組評価) 広範囲にわたる分野の講座が実施されていることにより、多くの市民が生涯学習講座に参加している。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	生涯学習課
3-3-2	生涯学習施設の環境整備と利用促進		公民館の利用者数	上がると良い指標	人	257,254	264,279	300,000	向上	(取組内容) 地区及び中央公民館において、講座開催計画に基づき各種講座を開催した。 (取組評価) 講座開催計画に基づき、市民のニーズに応じた魅力ある講座を開催し、延べ参加者数が前年より約300人増加した。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	生涯学習課
3-3-2	生涯学習施設の環境整備と利用促進		図書館の来館者数	上がると良い指標	人	180,000	200,251	200,000	向上	(取組内容) 各種イベントの開催や毎月特集を組んで蔵書の紹介をするなど、利用につながる取り組みを実施した。 (取組評価) 図書館に興味や親しみをもってもらうことができたため、来館者数の増加につながった。	図書館
3-3-3	図書館サービスの充実		市民一人当たりの図書の個人貸出点数	上がると良い指標	点	6.9	6.9	7.0	横ばい	(取組内容) 資料の入れ替えを進めて所蔵資料の充実を図ったほか、非来館型サービスとして地区公民館での図書館資料受け渡しを実施した。 (取組評価) 図書館へ来館せずとも本を読むことができたため、読書機会について一定の効果を得ることができた。	図書館
3-4-1	文化財の保護・保存及び次世代への継承	重4	無形民俗文化財保存会員数	上がると良い指標	人	1,045	1,054	1,150	向上	(取組内容) ・保存伝承及び後継者の育成等のため、各保存会へ無形民俗文化財保存育成委託料を支出した。 ・会員募集のため、体験者の声を集めたチラシを作成及び体験会等を実施した。 (取組評価) 上記の取組を行ったことで、無形民俗文化財保存会活動人数が微増しており、市民の郷土愛の醸成につながっている。	生涯学習課
3-4-2	芸術文化の振興	重1	芸術文化イベント参加者数	上がると良い指標	人	12,015	14,344	13,200	向上	(取組内容) 令和6年度より文化会館自主事業(芸術展)の開催回数を年間4回から6回へ変更した。 (取組評価) 文化会館自主事業(芸術展)の開催回数を年間4回から6回へ変更したことで、参加者数の大幅な増加につながった。	生涯学習課
3-4-3	スポーツの振興	重1	スポーツイベント参加者数	上がると良い指標	人	6,900	8,659	7,600	向上	(取組内容) 市民スポーツ大会や学校ホリデースポーツフェスタ事業等スポーツイベントを実施した。 (取組評価) 多くのスポーツに関するイベントを開催したことで、イベントへの参加者やスポーツを身近に感じる人の増加に寄与した。	健康都市・スポーツ課
3-4-4	スポーツ活動の環境整備と利用促進		スポーツ施設の利用者数	上がると良い指標	人	551,000	566,076	551,000	向上	(取組内容) 城山野球場において、グラウンド状態を良好に保ち、けがなどを防ぎ安全に利用していただけるよう改修工事を実施した。 (取組評価) 令和5年度に総合体育館の空調設備を更新したことから、総合体育館の利用者が増加している。今後城山野球場についても同様の効果が期待できる。	健康都市・スポーツ課

基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち(都市基盤)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
4-1-1	良好な市街地の形成	重1	市街地整備事業の完了面積	上がると良い指標	ha	628.7	635	658.8	向上	(取組内容) ・尾張旭北原山土地区画整理組合が実施する建物移転、道路築造などに対して、補助金等を交付した。 ・狭あい道路の解消に向け路線を整備した。 (取組評価) 既成市街地での取組や土地区画整理事業を推進したことで、市街地整備面積が増加した。	都市計画課
4-1-2	活力ある中心拠点の再構築	重1	三郷駅前周辺整備事業の進捗率	上がると良い指標	%	0	2	100	向上	(取組内容) 三郷駅前地区市街地再開発組合が実施する調査設計業務に対して補助金及び負担金を交付した。また、関連する三郷駅前まち育てプロジェクトの支援を実施した。 (取組評価) 組合の事業進捗に合わせ補助金及び負担金を交付し、円滑な事業推進に寄与した。	都市整備課・三郷駅周辺整備推進室
4-1-3	公園などによるうるおいのある空間づくりと活用	重3	公園などの面積	上がると良い指標	ha	443.4	445	445.0	向上	(取組内容) ・旭台第1号公園のリニューアル工事を実施した。 ・劣化があり、補修の必要な木製ベンチを耐久性のあるベンチに更新した。 (取組評価) 実績値の変更はなかったが、既存の公園等についてリニューアル工事や適切な管理により安全で快適に利用できる空間づくりに寄与した。	公園農政課
4-1-4	災害に強い都市基盤づくり		橋りょう点検の実施率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 橋梁長寿命化計画に基づき、令和6年度の橋梁点検を実施した。 (事業評価) 橋梁長寿命化計画に基づき点検を実施したことで、橋梁を適切に管理できている。	土木管理課
4-2-1	公共交通による移動手段の確保	重2	市内を運行するバス・鉄道の利用者数	上がると良い指標	千人	12,290	12,968	13,619	向上	(取組内容) ・市営バスにバスロケーションシステムを導入した。 ・県のデマンド交通の実証実験に参画した。 ・利用促進に向け、各イベントでの周知活動、広報誌やホームページ等を活用した情報提供、ルートマップ等の配布を実施した。 (取組評価) システム導入や実証実験に参画することで利便性向上を図るとともに、機会を捉えて周知活動を実施し、利用促進に寄与した。	都市計画課
4-2-2	駅・駅周辺施設における交通結節点の整備		駅前広場の整備率	上がると良い指標	%	75.0	75.0	100	横ばい	(取組内容) 三郷駅前広場の整備を含む三郷駅前地区市街地再開発組合に負担金を交付した。 (取組評価) 三郷駅前広場の整備を含む三郷駅前地区第一種市街地再開発事業が進捗中であり、実績値の変動はなかった。引き続き関係者との調整を図りながら事業に取り組み整備完了を目指す。	都市計画課
4-2-3	交通基盤を支える道路環境の整備		幹線道路の年間補修延長	上がると良い指標	m	400	642.0	600	向上	(取組内容) 幹線道路補修計画に基づき、補修工事を実施した。 (取組評価) 幹線道路補修計画に基づき、補修工事を実施したことで、幹線道路を適切に維持管理することができている。	土木管理課
4-3-1	緑・農地・水辺の保全		緑地面積	その他	ha	623.9	619.7	620.0	—	(取組内容) 農振農用地区域の除外申出に対して、厳格な審査を行った。 (取組評価) 農振農用地区域の除外申出や政策緑地の買取申出により、緑地面積は減少しているが、各種申出に対して適切な対応をすることで、緑・農地・水辺の保全に寄与している。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	重1	市民農園の区画数	上がると良い指標	区画	136	136	160	横ばい	(実施内容) 尾張旭市ふれあい農園の管理運営に関する条例に基づき、募集、維持管理、使用料徴収を行った。 (取組評価) 農作物を栽培する場を提供することで、緑・農地・水辺とふれあえる場づくりに寄与している。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	重1	矢田川自転車道の延べ整備延長	上がると良い指標	km	0.3	0.6	8.0	向上	設定している基準値は令和4年度実績値である。令和5年度に整備工事を行ったことを理由に実績値は向上したが、令和6年度は優先順位の高い他の事業を行ったため、整備工事は実施できなかった。	公園農政課
4-3-3	都市型農業の推進		地産地消を心掛けている人の割合	上がると良い指標	%	69.3	80.4	75.0	向上	(取組内容) 食育実行プランに基づき、学校給食で地産地消の食育等を行った。 (取組評価) 食育実行プランに基づき学校給食で地産地消の食育等を行ったことで、認知度が徐々に向上した。	公園農政課
4-3-3	都市型農業の推進		学校給食への地元農産物供給量	上がると良い指標	t	10.3	10.1	15.0	低下	(取組内容) 学校給食で地産地消の食育を行った。 (取組評価) 学校給食で地産地消の食育を行い、地産地消を浸透させることで、地元農業の活性化に寄与することができた。	公園農政課

基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち(都市基盤)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
4-3-4	全国植樹祭の理念継承		開催理念を継承する事業数	上がると良い指標	事業	21	21	25	横ばい	(取組内容) 全国植樹祭5周年イベント、樹木伐倒加工業務などの理念継承事業を実施した。 (取組評価) 理念継承事業を行ったことで、全国植樹祭の理念を継承していくことができた。	公園農政課
4-4-1	水道管の耐震化の促進		幹線水道管の耐震化率	上がると良い指標	%	37.5	38.7	82.3	向上	(取組内容) 幹線水道管耐震化基本計画に基づき、幹線水道管を耐震化するために幹線水道管の布設工事を実施した。 (取組評価) 安全で安定的な水道水の供給を図るために必要な幹線水道管の耐震化を着実に進めた。	上水道課
4-4-2	污水管の整備及び水洗化の普及促進		下水道普及率	上がると良い指標	%	86.8	89.5	98.3	向上	(取組内容) 計画的な下水道面整備を実施し、供用開始区域を広げた。 (取組評価) 計画的な下水道面整備を実施しているため、下水道普及率増加につながっている。	下水道課
4-4-2	污水管の整備及び水洗化の普及促進		下水道水洗化率	上がると良い指標	%	90	91.79	98.3	向上	(取組内容) 供用開始後3年以上経過した未接続宅を対象に、個別訪問を実施し、切り替えの推進を図った。 (取組評価) 上記取り組みを行ったことで、下水道水洗化率の向上につながった。	下水道課
4-4-3	良好な污水处理の推進		下水処理施設利用率	上がると良い指標	%	67.3	69.7	87.3	向上	(取組内容) 施設の運転管理等の維持管理を滞りなく実施した。 (取組評価) 流入水量の増加により施設利用率が上昇した。	浄化センター
4-4-4	持続可能な上下水道事業の推進		総収支比率(上水道)	その他	%	120.7	117.8	100以上	—	(取組内容) 令和6年度の総収支比率は、県営水道の値上げによる受水費の増加などの要因により、基準値と比較して減少したが、目標値の100%を上回ることができた。 (取組評価) 健全な経営ができていると評価する。	経営政策課
4-4-4	持続可能な上下水道事業の推進		総収支比率(下水道)	その他	%	98.7	100.40	100以上	—	(取組内容) 令和6年度は一般会計から電力価格高騰に対する補助金など繰入金が増加したため、令和6年度の総収支比率は、目標値を上回ることができた。 (取組評価) 総収支比率は目標値を上回ることができたが、経費回収率は83.6%であり、污水处理に必要な費用を使用料で賄えている状況とされる100%を下回っている。	経営政策課

基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち(安全安心・市民生活)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
5-1-1	地域コミュニティ活動の活性化支援	重4	自治会・町内会加入世帯数	その他	世帯	21,129	20,668	21,129	—	(取組内容) ・自治会町内会加入促進のためのチラシとグッズを配布した。 ・活動の様子を市のホームページなどで知らせた。 (取組評価) 加入促進のためのチラシとグッズを、年度初めに配布することで、新たな加入者の確保に貢献したが、町内会の連合自治会からの脱会や自治会町内会からの退会者は増加しており、退会者を減らすことに直接つながる有効な手段がない状況である。	市民活動課
5-1-2	ボランティア・市民活動団体への支援	重2	活動発表会及び交流会への参加団体数	上がると良い指標	団体	24	27	30	向上	(取組内容) ・市民活動団体連絡協議会の役員が毎月役員会を開催し交流会の内容を協議した。 ・4回開催した交流会について、曜日や時間を都度変えて開催した。 ・ホームページ掲示、公式LINE配信、公共施設への掲示及び団体への案内送付・送信により参加募集を行った。 (取組評価) 市民活動団体連絡協議会の役員が、市民活動支援センターの利用登録団体へのヒアリングを行いそのニーズを踏まえて企画し開催したことで、新たな団体の参加につながった。	市民活動課
5-1-3	コミュニティ施設の運営・管理と利用促進		コミュニティ施設の利用者数	上がると良い指標	人	471,249	530,852	520,000	向上	(取組内容) 指定管理事業者の特色ある自主事業や各種団体のイベント等の増加により向上した。 (取組評価) 指定管理事業者による自主事業内容や周知方法の見直しなどによって、来館者増加の効果が得られた。各施設の適切な運営・管理が利用促進に繋がっており事業の有効性は高い。しかしながら、コロナ禍以降の来館者数としては、コロナ禍以前と比較して戻りつつあるものの高止まりしている状況であり、現状の来場者数を減少させない取組も実施していく必要がある。	暮らし政策課
5-2-1	防災体制の充実	重1	各種団体との防災協定の累計締結数	上がると良い指標	件	95	107	115	向上	(取組内容) 協定締結に向けて、企業等に積極的に声がけした。 (取組評価) 上記取組を行ったことで、協定締結数の増加に大きく影響した。	危機管理課
5-2-2	災害情報システムの充実		防災アプリの累計登録者数	上がると良い指標	人	3,400	5,569	10,000	向上	(取組内容) ・総合防災訓練を始め、出前講座などの機会に啓発した。 ・啓発チラシを活用した周知を実施した。 (取組評価) 様々な機会に啓発を行うことで、認知度が上がり、登録者数増に繋がっている。非常時の情報伝達ツールとして有効なため、さらに登録者数を増やしていく。	危機管理課
5-2-3	避難生活環境の整備		想定避難者数に応じた食糧・飲料水(3日分)の備蓄率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 賞味期限の迫った備蓄品の買い替えを実施し、適正な備蓄品の管理を行った。 (取組評価) 災害時に備え、常に基準値を満たす管理が必要であるため、引き続き適正な管理を実施する。	危機管理課
5-2-4	防災・減災意識の向上		市や自主防災組織が開催する防災に関する活動の参加者数	上がると良い指標	人	3,100	3,784	3,400	向上	(取組内容) 平時における防災啓発や総合防災訓練、防災講演会の開催、出前講座の実施など、市民の防災意識向上に向けた取組を行った。 (取組評価) 積極的な防災啓発や近年頻発する大規模災害の影響で市民の防災意識が高まっている。引き続き、防災啓発に努めると共に自主防災組織等とも連携を深め、市民の防災意識の向上を目指す。	危機管理課
5-3-1	火災予防体制の充実		出火率(人口1万人当たりの出火件数)	その他	件	1.8	1.9	—	—	(取組内容) 火災の発生を未然に防止するため、店舗や工場への立入検査を行うとともに、市民への啓発活動や広報を実施した。 (取組評価) 年間の出火件数は概ね横ばいの状況であり、継続的な普及啓発が必要である。	予防課
5-3-2	消防・救急体制の強化		通報を受け、消防車が放水を開始するまでの時間	下がると良い指標	分	11.4	13.1	10.0	低下	〈取組内容〉 ・火災活動訓練を定期的 to 実施し、近隣消防本部との連携訓練を実施した。 ・名古屋市等との指令業務の共同運用開始に伴う消防隊の応援体制を強化した。 ・アクションカメラによる現場活動の検証体制を強化した。 ・出動途上におけるタブレット等を活用した情報共有体制の運用を強化した。 〈取組評価〉 上記の事項に取り組んだが、消防隊の現場到着時間及び放水開始時間の短縮には至らなかった。また、偶発的な火災の発生場所に起因する現場到着時間の隔たりについては是正することができない。	消防署
5-3-2	消防・救急体制の強化		通報を受け、救急車が傷病者を病院に収容するまでの時間	下がると良い指標	分	34.2	32.5	33.0	向上	〈取組内容〉 ・救急隊と消防隊の連携活動訓練及び近隣消防本部との連携訓練を実施した。 ・名古屋市等との指令業務の共同運用開始にともない救急隊の応援体制が強化した。 ・マイナンバーカードを活用した救急業務(マイナ救急)の実証事業に取り組んだ。 ・傷病者の迅速搬送と職員の負担軽減につながる電動ストレッチャーを配備した。 〈取組評価〉 上記の事項に取り組んだことで、救急隊の現場到着時間及び現場活動時間の短縮につながった。しかし、偶発的な救急事案の発生場所に起因する現場到着時間の隔たりについては是正することができない。	消防署

基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち(安全安心・市民生活)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
5-3-3	消防組織体制の強化		消防関係団体による訓練などの参加者数	その他	人	750	954	—	—	(取組内容) 訓練実施計画を都度作成し、訓練実施計画に基づき、訓練を実施した。 (取組評価) 訓練実施計画に基づき、訓練を実施したことにより、消防団をはじめとする関係団体との連携強化を図ることができた。	消防総務課
5-4-1	交通安全対策の推進		人口千人当たりの交通事故発生件数	下がると良い指標	件	25.6	27.6	24	低下	(取組内容) 対象に合わせた交通安全啓発活動を実施した。また、市民祭や健康フェスタなどのイベントに参加し、啓発を行った。 (取組評価) 各種啓発については、一定程度効果があったと考えられるが、コロナ禍期の数値と比較すると、外出機会の増加により、交通事故件数も増加している。	市民活動課
5-4-2	防犯対策の推進		人口千人当たりの犯罪発生件数	下がると良い指標	件	4.1	5.2	4.0	低下	(取組内容) 対象に合わせた防犯啓発活動を実施した。また、市民祭や出前講座に参加し、啓発を行った。 (取組評価) 各種啓発については、一定程度効果があったと考えられるが、コロナ禍期の数値と比較すると、外出機会の増加や特殊詐欺等の犯罪の巧妙化により、犯罪件数も増加している。	市民活動課
5-4-3	消費者・生活者の安心の確保		消費生活相談件数	その他	件	210	231	—	—	(取組内容) 消費生活センターにおいて、消費生活相談を実施した。 (取組評価) 様々な相談内容に対応できる相談員による相談業務を実施したことにより、生活上のトラブルに遭わないよう、未然防止対策や気軽に相談できる体制が構築されている。	市民活動課

基本目標6 環境にやさしい生活を送るまち(環境)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
6-1-1	省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進	重1	省エネルギー設備導入補助事業などにより導入設置した累計設備数	上がると良い指標	台	1,300	1,602	2,100	向上	(取組内容) 補助事業について、広報やホームページで周知するとともに、窓口で案内を配布した。 (取組評価) 広く周知を行ったことで、省エネルギー設備導入補助事業の申し込みの増加に寄与した。	環境課
6-1-2	公共施設の省エネルギー化の促進		行政活動による温室効果ガス発生量	下がると良い指標	t-CO2	7,423	8,087	3,493	低下	(取組内容) 空調機器、照明、OA機器、公用車の適正使用について、職員への周知・啓発を行った。 (取組評価) 上記取組を行ったが、温室効果ガス発生量は増加した。	環境課
6-1-3	環境保全意識の向上		環境学習講座の開催数	上がると良い指標	回	67	63	80	低下	(取組内容) ・環境学習講座の開催に向けて、関係機関との打ち合わせ等を実施した。 ・ホームページへの掲出や公共施設等に案内チラシを設置することで、講座の周知を図った。 (取組評価) 上記取組を行ったが、講座開催数は減少した。	環境課
6-2-1	生活衛生環境の保全		生活衛生環境に関する相談対応件数	下がると良い指標	件	244	258	220	低下	(取組内容) 生活衛生環境に関する相談を受け付け、対応や経過について随時記録を行う。 (取組評価) 対応件数は増加しているが、苦情への対応方針を確立したことで迅速な対応が行えている。	環境課
6-2-2	ペットなどの適正飼育の推進		ペットの適正飼育に関する個別啓発件数	下がると良い指標	件	20	5	15	向上	(取組内容) 犬のふん害防止看板を配布したほか、飼い主に対して予防的な声掛けを行った。 (取組評価) 上記取組により、ふん害や鳴き声に関する苦情が減った。	環境課
6-2-3	適正なし尿処理の推進		し尿処理量	その他	kl	12,672	11,695	—	—	(取組内容) し尿処理量は例年減少傾向にある。 (取組評価) 公共下水道の整備に伴う下水道接続世帯の増加によるものである。	環境課
6-3-1	ごみの発生抑制の推進		市民一人一日当たりのごみ総量	下がると良い指標	g	815	760	733	向上	(取組内容) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、生ごみ減量講習会等発生抑制の施策を推進した。 (取組評価) 上記取組により、ごみの総排出量が減少した。	環境課
6-3-2	ごみの資源化の推進		燃えるごみ中の資源ごみ混入率	下がると良い指標	%	25.4	25.6	18.2	低下	(取組内容) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、広報等周知啓発の強化により資源化促進に取り組んだ。 (取組評価) 周知啓発の強化では分別の推進は十分とは言えず、資源ごみ収集方法の検討を進める必要がある。	環境課
6-3-3	ごみ収集・処理体制の整備		ごみ残置シール貼付数	下がると良い指標	件	4,672	3,980	3,970	向上	(取組内容) ごみ残置シールの貼り付けや、広報と同時配布の「ごみの出し方」などによる市民への周知を実施した。 (取組評価) 上記の取り組みを行ったことにより、市民のごみ分別意識の高揚が図られ、ごみの適正排出が進んだ。そのため、事業の有効性は高いと評価する。	環境事業センター

基本目標7 笑顔と活力があふれるまち（産業・にぎわい・多様性）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
7-1-1	地域商工業の活性化	重4	地域経済循環率	上がると良い指標	%	63.2	60.6	67.0	低下	(取組内容) 産業振興ネットワーク形成促進事業の一環で、異業種交流会(MEET UP ASAHI)を開催し、市、商工会、金融機関などを中心に全5回で延べ154人の参加、9件の事業マッチングがあり、市内取引の促進を図ることができた。 (取組評価) 実績値は平成30年(2018年)調査時点の数値であるため、取組内容の影響を評価することはできないが、地域経済循環率の向上には、市内の事業者への支援や、事業者同士の取引を促進させながら地域経済の活性化を図っていく必要がある。	産業課
7-1-1	地域商工業の活性化	重4	製造品出荷額	その他	百万円	157,735	168,474	—	—	(取組内容) 数値取得年度(令和5年度)は、物価高騰対策として省エネ設備更新補助金を実施し、製造業等のエネルギーコスト等の固定費削減を支援した。 (取組評価) 物価高騰等によるエネルギーコストの増加は長期化しており、早期に固定費削減に係る支援に取り掛かったことが、成果の向上に寄与している。	産業課
7-1-2	事業者への支援		市内の事業者数	上がると良い指標	者	2,485	2,485	2,500	横ばい	(取組内容) 小規模企業等補助金等により、継続操業を支援した。 (取組評価) 実績値は令和3年(2021年)調査時点の数値であるため、直近の取組内容の影響を評価することはできないが、市内の事業者数の向上には、市内の事業者が抱える課題を把握し、補助制度等による支援を適切に行う必要がある	産業課
7-1-3	創業者への支援	重2	創業支援を受けた創業者の数	上がると良い指標	人	36	35	38	低下	(取組内容) 特定創業支援等事業として全5回の創業セミナー、セミナー後のフォローアップセミナーを実施した。また、市及び連携支援事業者(市商工会、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫)に相談窓口を設置した。 (取組評価) 創業セミナーにて、各連携支援事業者から支援内容を説明したことや、フォローアップセミナーにて平成28年度からの創業セミナー受講者全てに開催案内を行ったことで、創業者支援の充実につながった。	産業課
7-2-1	就労機会の提供		就労機会の提供数	上がると良い指標	回	3	3	4	横ばい	(取組内容) 瀬戸・尾張旭雇用対策協議会の事業を通じて、地元企業の就職フェア等を3回実施した。 (取組評価) 関係機関と協働し、就職フェア等においては、学卒者や就職氷河期世代など幅広く参加対象とし、様々な観点から就労の機会を提供することができた。	産業課
7-2-2	就労相談の実施		「尾張旭市ふるさとハローワーク」への相談件数	その他	件	6,048	5,221	—	—	(取組内容) ハローワークと同様に求職者への職業相談や職業紹介、求人情報の提供を実施した。 (取組評価) 求人情報や雇用に関する各種情報を提供し求職者の就職決定に寄与した。また、若者無業者等の就労については必要に応じて就労・自立支援機関につなぐなど連携して支援を実施した。	産業課
7-2-3	勤労者支援の実施		労働相談の相談件数	その他	件	2	0	—	—	(取組内容) 愛知県労働福祉課から派遣される相談員による巡回労働相談を月1回実施した。 (取組評価) 労働相談の実施により相談者のトラブルの解消に寄与した。巡回労働相談は月1回対面で行うため、相談希望者に対しすぐに相談できる電話相談を案内するなど相談者の支援につながるよう対応した。	産業課
7-3-1	尾張旭まつりの開催	重1	尾張旭まつりへの来場者数	上がると良い指標	人	62,000	108,000	115,000	向上	(取組内容) 尾張旭まつり(さくらまつり、あさひ夏フェスタ、市民祭、農業まつり)を実施した。 (取組評価) さくらまつり及び市民祭の来場者数が増加した。また、基準値としたR4の実績では、夏まつりが中止となり夏まつりの来場者数が含まれていないため、R6夏フェスタ参加者数分が増加した。来場者数が大幅に増加し、まちのにぎわいの創出に寄与した。	産業課
7-3-2	地域資源の創出・磨き上げ	重1	尾張旭まち案内への来場者数	上がると良い指標	人	9,181	10,510	13,000	向上	(取組内容) あさびー20周年事業等のイベントやおいしい紅茶のまち日本一を積極的にPRした。 (取組評価) 積極的なPRにより、来場者数が基準値より増加し、特産品やイベントの周知につながった。	産業課
7-4-1	ジェンダー平等社会の推進	重2	ジェンダー平等に係る啓発件数	上がると良い指標	件	25	26	28	向上	(取組内容) 第2次尾張旭市男女共同参画プランに基づき、ジェンダー平等に係る多種多様な啓発を実施した。 (取組評価) 6月の男女共同参画週間や11月のパープルリボン運動の時期に合わせ、集中的に啓発を実施することで、様々な分野で多様な価値観と発想が取り入れられるような機会の拡大・啓発につながった。	多様性推進課
7-4-2	多文化共生社会の推進	重2	日本語教室の参加者数	上がると良い指標	人	625	1,939	950	向上	(取組内容) ・本市で生活する外国人が地域住民と人間関係をつくれるよう、初期日本語教室の開催及び、市民グループが運営する日本語教室への支援を行った。 ・市民と外国人の交流を支援し、本市の国際交流の推進を図るため、尾張旭国際交流会に補助金を交付するなどの支援を行った。 (取組評価) 日本語教室が、新たに2講座開設(基準値設定時との比較)されたことで、参加者数の大幅向上といった効果が得られた。	多様性推進課

基本目標8 未来につながる行政経営（行政経営）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R15)	対基準値	令和6年度の取組内容／評価	担当課
8-1-1	行政情報の積極的な発信		報道機関への情報提供件数	上がると良い指標	件	220	536	250	向上	(取組内容) ・情報提供をしてもらうよう庁内に働きかけた。 ・積極的に取材をした。 ・効果的な情報提供方法を習得するための研修を実施した。 ・報道機関に発信した情報を、市HP等の媒体でも発信。 (取組評価) 上記取組により、新聞等での掲載率が向上し、市のPR等につながった。	広報戦略課
8-1-1	行政情報の積極的な発信		行政情報の受取者数	上がると良い指標	千人	1,549	1,520	1,567	低下	(取組内容) ・イベント等を活用してSNSの登録者増加を図った。 ・発信の頻度、質の向上を図った。 ・各種研修を行い、情報発信について啓発した。 ・広報誌のリニューアルを行った。 (取組評価) 上記取組により、広報誌やSNSで行政情報や市の魅力を届けることができた。一方でホームページの閲覧数はコロナをピークに減少傾向にあるが、重要な情報発信ツールであり、事業の有効性は高いと評価する。	広報戦略課
8-1-2	愛着と誇りの醸成	重4	本市に愛着を感じている市民の割合	上がると良い指標	%	81.3	—	85.0	比較不可	(取組内容) 人口問題対策本部において、移住定住を促進するため次年度の取組をまとめた。また、転入転出者アンケートを実施し、約半年間の総括報告書を作成した。 (取組評価) 各課にも照会し、人口問題に資する幅広い取組を実施・検討できた。また、転入転出者アンケートにより、当事者の声を聞くことができた。	企画課
8-1-3	広聴活動の充実		市長と市民との対話件数	上がると良い指標	回	24	24	30	横ばい	(取組内容) ・渋川小及び東栄小で「市長、小学校に行く！」を実施した。 ・全中学校を対象に市長を囲む子ども会議を実施した。 ・市長と市民が対話したイベント等を市ホームページに掲載した。 (取組評価) 上記取組により、市長と市民が対話する機会が確保されたとともに、その様子や内容を広く周知できた。	広報戦略課
8-2-1	効果的・効率的な行政運営		見直しを行った事務事業の割合	その他	%	—	0	100	—	(取組内容) 令和7年度以降に事業見直しを実施するため、手法を調査・検討した。 (取組評価) 第六次総合計画の初年度である令和6年度は、事業の見直しは実施しなかったが、次年度以降の実施により、効果的かつ効率的な行政運営に取り組む。	企画課
8-2-2	デジタル化の推進	重1	電子申請を可能とする手続数	上がると良い指標	件	67	76	100	向上	(取組内容) ・あいち電子申請・届出システムの利用終了に伴い、LoGoフォーム、マイナポータル(びったりサービス)の利用を庁内に呼び掛けた。 ・マイナポータル(びったりサービス)にキャッシュレス決済を導入した。 (取組評価) ・手続きの集約及び支払手段の拡充により市民の利便性が向上した。 ・あいち電子申請・届出システムの負担金が不要となることによるコスト削減効果が得られた。	情報政策課
8-2-3	健全な財政運営		将来負担比率	その他	%	—	—	—	—	(状況) 令和6年度決算では将来負担率は発生していない。 (原因) 充当可能財源等の額が将来負担額を上回ったため。	財政課
8-2-3	健全な財政運営		実質公債費比率(3か年平均)	その他	%	3.6	4.0	—	—	(状況) 実質公債費比率(3か年平均)は、前回取得値の3.6%と比べ、0.4ポイント上昇した。 (原因) 令和6年度決算の一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金が、令和3年度決算額と比較して増加した等のため。	財政課
8-2-4	公共施設の適正な管理		個別施設計画策定率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) 個別施設計画の策定状況を確認し、必要に応じて計画の改訂を支援した。 (取組評価) 個別施設計画策定率100%を維持しており、公共施設の適正な管理に寄与している。	財政課
8-2-5	組織・人事マネジメントの充実		職員一人当たりの研修参加回数	上がると良い指標	回	5.4	5.9	5.7	向上	(取組内容) 令和6年度研修計画に基づき、各種研修を実施した。 (取組評価) 概ね研修計画に基づき実施ができた。	人事課